

2022年度 新潟県クラブユースサッカー新人(U-14)大会
兼 2023年度 新潟県クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 予選会
大会規定

1. 競技規則 2021/2022年(公財)日本サッカー協会『サッカー競技規則』による
2. 競技方法 (1) 組合せ 2021年度新潟県クラブユースサッカー(U-13)大会の途中結果を基に大会実施委員が決定及び抽選を行う。
 - ① 2021年度新潟県クラブユースサッカーU13大会の予選L1位8チームは決勝トーナメントより進出とす
 - ② 2021年度新潟県クラブユースサッカーU13大会の予選L2位8チームを8グループに振り分ける。
 - ③ 2021年度新潟県クラブユースサッカーU13大会に参加をしたチームから抽選を行い、その後参加していないチームが抽選を行う。(2) 予選リーグ
 - ① (1)の①を除く参加希望チームをa～hの8グループに分けリーグ戦を行う。
 - ② 試合時間は60分(30分-5分-30分)で行う。
 - ③ 勝ち点制とし、勝ち点は以下の通りとする。

勝ち = 3点、引分け = 1点、負け = 0点

勝ち点が同一の場合、(i) 当該チーム内の対戦成績 (ii) 当該チーム内の得失点差 (iii) 当該チーム内の総得点 (iv) グループ内の総得失点差 (v) グループ内の総得点 (vi) 抽選の順で順位を決定する。
 - ④ 予選リーグ1位・2位チームは予選トーナメントへ進出する。
予選リーグ3位チームは順位トーナメントへ、4位チームは順位Lへ進出する。
 - ⑤ 合同チームとの対戦成績も反映し順位を決定する。ただし、合同チームはオープン参加の為、最下位扱いとし順位リーグへ進出する。(3) 予選トーナメント
 - ① 予選リーグ1位・2位チームで行う。勝者は決勝トーナメントへ進出し敗者は順位トーナメントへ進出する。
 - ② 試合時間は60分(30分-5分-30分)で行う。
 - ③ 試合時間内に勝敗が決定しない場合は、PK戦方式により勝敗を決定する。(4) 決勝トーナメント
 - ① (3)①の予選トーナメント勝利チームと新潟県クラブユースU13大会予選L1位8チームの計16チームで決勝トーナメントを行う。
 - ② 試合時間は60分(30分-5分-30分)で行う。
 - ③ 試合時間内に勝敗が決定しない場合は、PK戦方式により勝敗を決定する。(5) 順位トーナメント(17位24位T・25位32位T)
 - ① (3)①の予選トーナメント敗者チーム8チームで順位トーナメントを行う。
 - ② (2)①の予選リーグ3位8チームで順位トーナメントを行う。
 - ③ 試合時間は50分(25分-5分-25分)で行う。
 - ④ 試合時間内に勝敗が決定しない場合は、PK戦方式により勝敗を決定する。(6) 順位リーグ
 - ① (2)①の予選リーグ4位5チームで順位リーグを行う。
 - ② 試合時間は50分(25分-5分-25分)で行う。
 - ③ 勝ち点制とし、勝ち点は以下の通りとする。

勝ち = 3点、引分け = 1点、負け = 0点

勝ち点が同一の場合、(i) 当該チーム内の対戦成績 (ii) 当該チーム内の得失点差 (iii) 当該チーム内の総得点 (iv) グループ内の総得失点差 (v) グループ内の総得点 (vi) 抽選の順で順位を決定する。
 - ④ 合同チームとの対戦成績も反映し順位を決定する。ただし、合同チームはオープン参加の為、順位は無しとする。
3. 試合前・試合中のウォーミングアップ (1) 試合前のウォーミングアップは各会場の指定された場所及び方法で行う。
(2) ピッチ内アップ
 - ① 試合開始前のピッチ内アップが可能な場合はボールを使って行う。
 - ② ハーフタイムのピッチ内アップは、原則として次に試合のチームが行うことができる。
 - ③ 試合中のアップについては、ベンチ脇で行うこと。この時、ボールの使用は厳禁とする。

4. 代表者会議 (1) 原則として、各会場第1試合開始60分前に当該出場チームの代表各1名によるミーティングを行う。2日間に渡り開催される場合は2日目の代表者会議の開催は、会場担当者の判断に委ねる。
(2) 代表者会議では、試合日程及び審判割りの確認、各会場の利用方法と最後にユニフォームチェックを行い、スムーズな競技運営に各チームで協力をお願い致します。
5. 選手交代 (1) 当日ベンチ入りした14名までとし、再出場は認めない。また、後半の交代回数は3回までとする。
(2) 交代用紙は使用しない。
(3) 各試合のメンバー表提出後、試合開始前までの時間に怪我などの特別な理由により、その試合に登録された選手が出場出来ない当該会場本部役員が判断した場合に限り、下記の通りメンバーの変更を認める。
 - ① 先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たに控え選手を登録済みの選手の中から補充することが出来る。ただし、出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。
 - ② 控え選手の場合、登録済み選手の中から控え選手として新たに補充することが出来る。この場合も怪我等で出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。
 - ③ 選手の補充を行った場合、怪我等で出場出来ない当該選手はベンチ内へ入ることは出来ない。
 - ④ この選手の補充については、選手の交代にはあたらない。
 - ⑤ この措置は、本大会のみの適応とする。
6. 警告・退場 (1) 大会期間中、警告の累積が2枚になった選手は次の1試合に出場出来ない。また、退場を命じられた選手等は次の1試合に出場出来ない。
(2) 警告の累積は、予選リーグ終了後にクリアする。
(3)
 - ① 退場・退席処分を受けた選手等は次の1試合に出場できない。その後の措置については、本大会規律・裁定委員会において処分を決定し、文書にてチームに到達する。また、退場・退席になってその処分を本大会で消化できない場合で、北信越新人大大会及び北信越新人フェスティバルに出場する場合は、その大会の第1試合で消化すること。なお、北信越大会へ出場できない場合は、直近の公式戦で消化することとする。
 - ② 北信越新人大大会及び北信越新人フェスティバルの代表決定戦において、累積警告二枚目を受けて出場停止となった場合には、この消化を北信越新人大大会及び北信越新人フェスティバルの第1試合で行うこととする。
 - ③ 本大会における②以外の累積警告は、本大会が終了するとともに消滅する。
- (4) 退場・退席を命じられた選手等は、会場役員の指示に従い所定の場所に移動すること。
(5) 退場処分等を出した当該の審判員は「審判報告書」並びに「審判報告書（重要事項）」を当該ピッチの本部に提出すること。なお、その書面をもって、当該選手等の事情聴取を行います。
(6) 退場及び退席を受けた選手等は、各会場の指定の場所で事情聴取を行います。試合終了後、会場大会本部にて待機して下さい。審判報告書の提出を待つて事情聴取を開始します。場合によっては審判団にも聴衆することがある。
(7) 本大会終了時、出場停止処分が残存する場合、上位大会に進出出来ないチームの選手等は必ず、直近の公式戦においてこれを消化して下さい。その場合、チーム監督及び当該選手から大会主催者に申告して下さい。
(8) 「累積警告」による出場停止処分は、本大会において消化するものとし、本大会の終了を持って出場停止処分は消滅する。
(9) その他詳細は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規定」に則る。
7. 審判 (1) 審判員は、チーム帯同審判員とし必ず写真貼り付けの審判証を携帯し、大会役員の求めに応じ提示ができること。
(2) 審判員は、審判着、審判員ワッペンの着用を必須とする。
(3) 審判員は高校生以上とする。
8. メンバー表 (1) エントリー後のメンバー変更（入力ミスによる訂正も含む）は、本大会出場初日の代表者会議時に変更したエントリー表を1部提出のこと。このとき、背番号のみの変更は認めない。
(2) メンバー表は、各会場共に当該試合開始30分前までに各ピッチの本部へ先発選手、交代要員、ユニフォーム、ベンチ入り役員に印を付け提出すること。決勝トーナメントは3部提出すること。予選リーグ、予選トーナメント及び順位トーナメント・順位リーグは2部提出することとする。
(3) 選手証については、競技役員の求めに応じ提示できるようにしておくこと。
(4) メンバー表に不備があった場合は、大会実施委員によって協議し裁定を行う。

9. 選手チェック (1) 試合開始5分前に選手チェック、用具チェックを指定された場所で行う。
(2) 選手の装身具は全て禁止とする。ただし、女子選手のヘアバンドのみ主審が認めた場合のみそれを認める。
(3) その他の装具については、主審の判断とする。
10. ユニフォーム (1) ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定を遵守すること。
※日本サッカー協会ユニフォーム規定第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
(2) 正・副の色の異なるユニフォーム(GKも含む)を用意すること。通常審判員が着用する審判着（黒色等）に類似しているユニフォームは認めない。
(3) ユニフォームの前面及び背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること（GKも含む）
(4) 背番号の張り番については、前面及び背面とも四辺をしっかりと縫い付け試合中に取れることのないようにすること。また、台座の生地は、出来るだけユニフォームの主たる色と同色にし、かつ、番号がはっきりと読み取れるものであること。
(5) ユニフォームの色及び選手番号は大会登録後の変更は認めない。
(6) 本協会から示された「ユニフォーム規定」の運用緩和に関しては、以下の点を認めるものとする。
・ソックスにテープ又はその他の材質の物を張り付ける、または外部に装着する場合、ソックスと同色でなくても良い。
・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色やデザインが同様と主審が判断すれば着用することができる。
・ユニフォームの下に着用するアンダーシャツ、ショーツおよびタイツ色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。（一部未着用の者が含まれる場合も可とする）
・ソックスは足首部分で切れたもので、足首からは別のものを着用する形式のものを着用できる。
(7) 合同チームについては、出来るだけ統一したユニフォームを用意する事。ただし、ユニフォームが揃わない場合は、ピブスを着用して試合に出場出来る。エントリー表提出時にはピブスの番号を記載する事。試合毎にピブスの番号変更は認めない。
11. ベンチ (1) ベンチへの入場は、メンバー表に印を付けた選手最大25名（交代要員を含む）と役員5名以内とする。
(2) リーグ戦においては、リーグ表上段のチームが左側ベンチ、対戦相手が右側ベンチを使用すること。また、トーナメント戦においては、トーナメント表左及び上段のチームが左側ベンチ、対戦相手が右側ベンチを使用すること。
(3) 試合中に役員は、ベンチから離れることはできない。
12. ベンチ内での態度 (1) 試合中その都度ただ一人の役員のみがテクニカルエリアに出て競技者に戦術的指示を伝えることが出来る。
(2) ベンチ内での発言において、審判員・選手・競技役員等に対し誹謗中傷及び暴言・差別発言等は厳に慎むこと。これを行ったチーム役員・選手等に対しては厳重な処分を下します。
(3) 控えの選手及びチーム役員は、ピッチ内で試合をしている選手及び審判員と明らかに異なる色のピブス等を着用していること。
(4) ベンチ内及びその周辺でのビデオ撮影・写真撮影を認めない（ただし、試合前の選手集合写真は可）。また、撮影をするために当日登録された選手等がベンチ内から離れてそれを行うことは出来ません。
(5) ベンチを含む競技場内におけるチーム役員同士の無線通信は認められる。ただし、監督を含む役員や選手が出場停止または退場、退席処分を受けた場合においては、それは出来ない。また、試合の画像をベンチ内で見ることの出来る通信機器及び端末（PCも含む）の使用は認められない。
13. 試合球 試合球は、大会実施委員会にて準備する。
14. 飲水 (1) 試合中の飲水タイムは、新型コロナウイルス対策の一環として前・後半に一回必ず取る事。その場合、予めタッチラインの外に置かれている個人用ボトルで飲水を行う事。なお、この時間は、飲水のための時間であるため作戦の指示等は出来ません。
当日のWBGT計の計測により、クーリングブレイクを取り入れる場合もあります。
(2) スポーツドリンク等、水以外の飲料水については、各会場の規定に従うこと（飲料については、代表者会議時に確認のこと）

15. 会場設営 (1) 各会場の設営は、第1試合の2チームで行う。
(2) 各会場の撤収は、最終試合の2チームで行う。
16. その他 (1) 会場運営については、大会実施委員会に一任する。
(2) 参加資格等の違反、不都合な行為等があった場合の措置については大会実施委員会で裁定する。
(3) 大会期間中において、不慮の事故等が生じた場合は、各チームにおいて対応すること。
(4) 応援については、本大会マニュアルを参考にし声を出しての応援を禁止し、観戦もソーシャルディスタンスを保つこととする。
(5) 鳴り物及び応援歌での応援を禁止とする。
(6) 本大会において、要項・規定以外の予期せぬ事象に対しては、大会実行委員で最終判断をしますが、早急な判断が必要な場合は、参加各チームの良識ある対応をお願いします。その場合、必ず実施委員会に顛末の報告をお願いします。
(7) 天候等の事情により試合が日程通り消化出来ない状況が発生した場合は、大会実施委員会に一任する。
(8) 反スポーツ的（特に暴言・暴力・差別発言等）と判断される行為は相手チームのみならず自チーム間であっても厳に慎み、サッカーの品位を高めるよう努力を図ること。
(9) 試合中の選手や観客を含め会場による緊急事態（救急搬送等）の対応は本部役員で行うが、それ以降の処置は各チームで責任を持って対応を行って下さい。
(10) 試合終了後の挨拶は、横に一列に並んで終了とする。時間の都合上、相手チームベンチへの挨拶及び本部、応援席への挨拶は無しとします。握手はおこなわない。
(11) 本要項及び注意事項に記載の無い事項については（公財）日本サッカー協会発行「サッカー競技規則 2021/2022」による。
- 健康管理 (10が関係) (1) 新型コロナウイルス感染症に十分留意し各チームで選手の健康管理・安全第一に努めることとする。また、各チームに感染対策責任者を1名設置し大会期間中及び大会前後健康管理すること。
(2) 大会2週間前から選手の健康チェックすること。（チェックシートの管理：チーム感染対策責任者）※30日間保管
(3) 試合当日に健康チェックリストを提出すること。（チーム感染対策責任者）
(4) 大会期間中又は大会後3日以内に発熱等の症状がある選手は大会競技委員長に連絡を入れること。
(5) 大会期間中に新型コロナウイルスなど感染症（選手・スタッフ・大会関係者）が出た場合は、本大会の大会マニュアルに従うこととする。

【大会実施委員長】

新潟県クラブユースサッカー連盟 代表理事 浅見達也（090-4069-1799）

Mail : nicy.asami@gmail.com